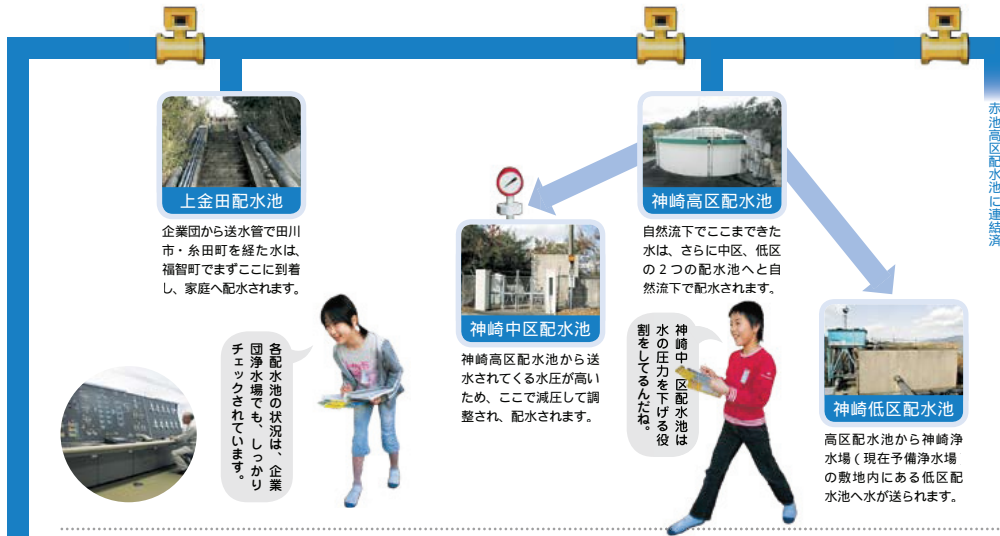
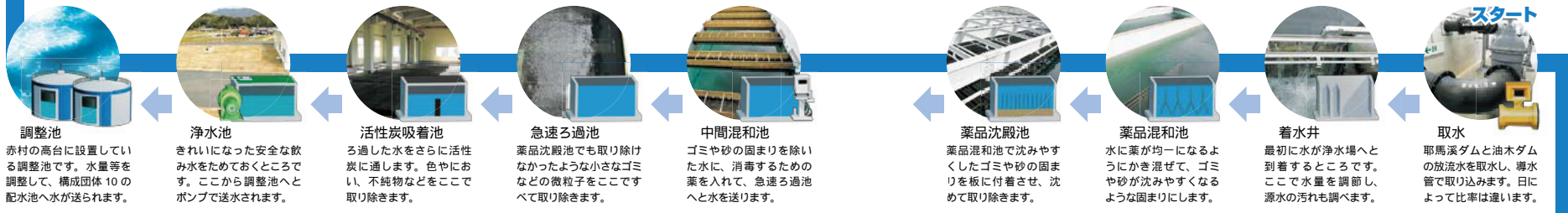
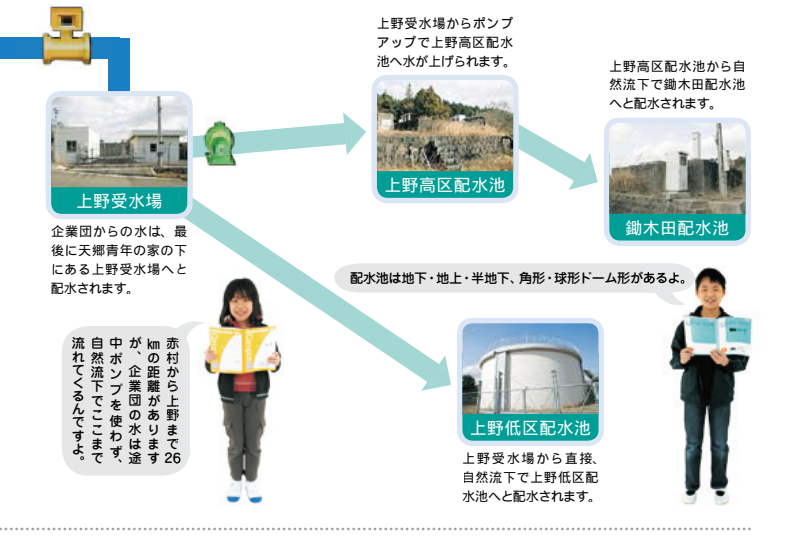


金田・神崎地区の水の流れ



上野地区の水の流れ



WATER PICK UP

### 水質検査と塩素濃度

24か所で採取した水について、水道法で定められた50種類の水質基準項目検査を定期的に行い、安全を確認しています。また、町内15か所の給水栓（蛇口）から出る水の残留塩素濃度を毎日チェックしています。

浄化処理で塩素殺菌される水道水ですが、塩素にはマンガンや鉄などの酸化やフッ素、二酸化窒素の分解、そして飲料水には欠かせない消毒の役割を果たしています。

たつきがあります。わたしたちが毎日使っている水道水には、水道法で定められた0.1mg/L以上〜1mg/L以下の塩素が含まれていて、病原性大腸菌O157などの病原菌を死滅させる役割を果たしているのです。カルキ臭が嫌われる塩素ですが、適度な残留塩素があることが、水道水の安全の指標にもなっています。

毎日、残留塩素濃度を確認。

水道課では、水源から給水栓（蛇口）までの各段階で水質検査をし、町内24か所で採取した水について、水道法で定められた50種類の水質基準項目検査を定期的に行い、安全を確認しています。また、町内15か所の給水栓（蛇口）から出る水の残留塩素濃度を毎日チェックしています。

赤村にある田川地区水道企業団の浄水場は、セキュリティーも万全だよ。

1日に1市3町分の14,700<sup>3</sup>の水を浄化。自家発電も備えているよ。

田川地区水道企業団浄水場の水の浄化行程だよ。

**耶馬溪ダム**  
山国川の利水の役目を果たしている大分県中津市にあるダムです。

**伊良原ダム**  
みやこ町にある被川の利水を目的とした福岡県が建設予定のダム。

**油木ダム**  
今川の利水の役目を果たしている添田町にあるダムです。

北九州市の供給でダム放流水を浄化

田川地区水道企業団浄水場から浄水を直接受水している上野地区と金田・神崎地区。合わせて1日に3千9百<sup>3</sup>、年間142万3千5百<sup>3</sup>が配水されています。

田川地区水道企業団は、田川市、川崎町、糸田町、そして福岡町の1市3町で構成する団体で、県営伊良原ダム（みやこ町）に平成29年完成予定）への参画を目的に平成元年に設立されました。平成13年には赤村に浄水場が完成し、現在耶馬溪ダム（大分県中津市）と油木ダム（添田町）の水利を持つ北九州市から源水（ダムの放流水）の供給を受けて浄化しています。

大分県の耶馬溪ダムから上野受水場までの水道管はおよそ58km。企業団の調整池（赤村）から上野、神崎高区、赤池高区の各配水池を経由して、ポンプを使わず、自然流下によって水が流れています。

# 大分県耶馬溪から58kmの水旅。

田川地区水道企業団浄水場からの受水 STEP 3 上野地区と金田・神崎地区の上水道